

名 称		平成 21 年度 第 1 回 ほどがや市民活動センター評議会 議事録
日 時		平成 21 年 10 月 23 日 (木) 18:00 ~ 20:00
場 所		ほどがや市民活動センター(アワーズ)ミーティングスペース
出席者	評議会委員	福田 幸男 委員【議長】 小倉 敬子 委員【副議長】 浅井 経子 委員 佐藤 義浩 委員 京 利幸 委員
	保土ヶ谷区役所	地域協働課長 岩本 健治 同青少年・文化・スポーツ係長 畠山 重徳 同青少年・文化・スポーツ係 永田 恵 同青少年・文化・スポーツ係 橋本 幸枝
	協働運営会議	内山 啓次郎 代表
	管理運営業務 受託者 アクティオ(株)	東日本事業部営業部長 佐熊 邦弘 ほどがや市民活動センター センター長 吉弘 初枝 同 スタッフ 姉川 圭一 同 スタッフ 阿野 秀一郎 同 スタッフ 中津留憲一
欠席委員		鈴木 方規 委員

議 題	(1) 平成 21 年度ほどがや市民活動センターの運営及び業務について 利用状況並びに企画事業等について 「ほどがや・街の学習応援隊」事業について (2) ほどがや市民活動センター協働運営会議から
資 料	1. ほどがや市民活動センター評議会委員名簿 (資料 1) 2. ほどがや市民活動センター平成 21 年度事業実施状況 (資料 2) 3. 平成 21 年度利用状況概要 (資料 2-1) 4. 上期事業実施状況 含む事業チラシ (資料 2-2) 5. 「ほどがや・街の学習応援隊」平成 21 年度事業計画・上半期利用状況 (資料 3) 6. ほどがや市民活動センター協働運営会議 第 1 回総会議事録 (資料 4) 7. ほどがや市民活動センター評議会会則 8. ほどがや市民活動センター協働運営会議会則

今年度第 1 回目の評議会開催にあたり、委員及び区役所職員、アワーズ職員それぞれが自己紹介をし今年度新たに 京(みやこ)委員が、伊藤委員の後任として着任されたことが報告された。

議題(1)平成21年度ほどがや市民活動センターの運営及び業務について

利用状況並びに企画事業等について

【アワーズから】

1. 4月にセンター長が着任した。
2. 本年度の事業目標と併せて事業の概要を「資料2」に基づき説明した。
3. 相談・コーディネートについては、今年度から集計項目の大幅変更があり、また本来の学習と活動に関する相談項目のみ計上することとなった結果、件数は減少している。
4. 相談項目で多いのは、「学習や活動の人材やグループ団体を探している、情報を知りたい」であった。
5. 登録団体で多いジャンルは「まちづくり・福祉関係」を含む「社会」と「子育てサークル・子育て支援グループ」を含む「生活」である。
6. 広域的に活動している団体よりも地域密着型の団体が多いのがアワーズの特徴の一つである。
7. アワーズ利用件数、来館者数、機材利用件数は年々増加傾向がみられる。
8. 今年度開催した講座のなかで、「シニア講座」では事後グループが出来、「チラシづくり講座」では講師を担った団体が主催して第2弾講座を開いたこと、また「暮らしの豆知識」で講師を務めた団体同士がつながって自主講座開催を行なうなどの成果がみられた。
9. 夜間講座開催では一応の成果はみられたが、講座参加者を日頃の利用者へつなげる事は難しかった。

【夜間開催の「豆知識」講座について】

- 1回参加でもOKとしたため気軽に参加者が来たのだろう。いろんな登録団体があり講師役となれたのはとてもよい。
- 夜間講座においてはもっと対象を絞っても良いのではないかとだれでも参加OKという対象に届かないこともある。
- 一度アワーズへ来た方への情報提供で、DMを出すのも手だが予算が必要になる。半期に一度や年間に一度出せばよいだろう。例えば有料の賛助会員登録などで情報提供を行なうことも考えてよいと思う。
- テーマが良ければ、平日の夜間講座も可というアンケート結果も出ている。
- 講座申込みの締切日の設定を工夫してみてもどうか。(各回申込制の場合)

【アワーズのホームページについて】

- (質問) HPの維持は費用も含めて大変だと思う。魅力的なHPにする工夫、何か今年は考えているか?
(アワーズ回答) HPトップページの「新着情報」で団体のイベントや講座開催などの情報発信に努めている。今年度の上半期の実績は昨年度の1年間の実績を超えた。今後はアワーズがいまこんなことをしているといた動きも併せても発信していきたい。
- 「YouTube」とか「コマーシャルライズ」といった動画再生の技術があり、これらは資金がかからず利用できる聞いた。これらを使って活動を紹介する等HPを工夫していくのもひとつのアイデアと思う。

【相談件数・利用率について】

- (質問) 土・日の利用アップはどのように考えているか?
(アワーズ回答) 今年度より土・日はミーティングスペースの貸切り予約を可能にして団体の講座開催などにも使えるようにしている。現在その効果が徐々に表れている。
- 統計については横浜市全区のセンター比較ができるとよい。それによって夜間の利用についてもアワーズだけの問題なのか、他区も同様にそうなのかを知ることができる。
- 勤め帰りの人がリフレッシュできるような企画を夜間にやってみてどうか。マットを利用した体操やヨガとか、音楽も内容を限定してやってみたらどうか。
- 隣にある図書館は7時で閉館する。タイアップして夜間のアワーズ利用につなげるよう考えてみてどうか?

(保土ヶ谷区役所) 利用率のこともあるが市民活動センターとしての設置目的もある。

委員からの意見・質問

ほどがや・街の学習応援隊 について

【アワーズから】

- ・今年度は今まで以上にコーディネートを丁寧にしていく。また登録者がPR事業へ積極的に参加していくよう工夫していく。
- ・冊子作りを工夫し、家に持って帰ってゆっくり検討してもらえるようなダイジェスト版冊子と閲覧用の冊子とを分けて作成した。
- ・一部の登録者への依頼に集中がみられるので、PR講座などで多くの登録者を広く知ってもらえる仕掛けを考えている。
- ・依頼相談に対して登録者の中に該当者がいない場合、近隣区の登録者やアワーズへの利用登録団体に声をかけるなどのコーディネートをしている。

委員からの意見・質問

- ・依頼団体に学校とあるが、いま小・中学校は放課後支援も含めて地域との関係作りを進めている。学校からの相談を受けているのはよい事例である。
 - ・個人では利用できないとあるが、高齢化社会に向けて例えば話し相手ボランティアなどの登録があるといいのでは。
 - ・登録者はどこで活動や練習をしているのか？ スキルアップのために日常的にアワーズ利用ができるといいと思う。
- (質問) 登録者の数は増えているか？ 減っているか？
 (アワーズ回答) 第7期に入って現在87の登録。更新前の第6期が終わる昨年度末には100位だったことから見ると減っているが、随時受付しているので、今後、新規の登録により徐々に多くなると思われる。

議題(2) ほどがや市民活動センター 協働運営会議から

【アワーズから】

- ・現在協働運営会議の目的と会則について見直し検討をしている。
- ・検討内容について10月に中間答申を出した。1月頃に最終答申を出したいと考えている。

委員からの意見・質問

- (質問) 目的を考えていく難しさとは？
 (協働運営会議代表) 協働運営会議はアワーズの登録団体から自ら手を挙げて参加してきた人で構成している。登録団体全体を代表するのではなく、自らアワーズを良くして行こうと手を挙げた方が参加している。
 アワーズ設立当初から関わっている委員だけでなく、発足後はじめて利用者の立場で参加している人もいますので、目的や会則の議論がしにくい。誰でもがこの会則を読めば協働運営会議で行なうことがわかるように内容を変えていければと思う。

その他意見交換

(アワーズから)

活動している人は自分の活動を、市民活動とか生涯学習とか分けているわけではない。アワーズは複合施設としてそれを強みとしていく必要があると考えている。また今後はもっと外に、地域に出て情報をつかんできて、業務に生かそうと考えている。現場に行く機会をもっと作り、2~3年後にこれがどのように活かされるかを併せて考えたい。

(委員から)

- ・町内会自治会の部屋の利用はできないのだろうか？ マンション等の自治会などはどこも会議場所に困っているはず。利用につながれば良いと思う。
- ・私は町内会・自治会活動はボランティア活動だと考えている。現に他市の市民活動センターでは利用を受け入れている。会館を持っているところはいいが、持っていないところもある。活動目的が

公益よりも共益性が高いので受け入れる場合の解釈と利用に関して他の団体との区別化が必要になるが、区役所と相談して市民活動の解釈の枠を広げられたらいい。そうすれば子ども会などにもア
ワーズ利用を促進できる。

(保土ヶ谷区)

横浜市では地縁型活動(自治会・町内会)とテーマ型活動(市民活動)に分けて考えてしまうことが多い。
市民活動センターの設置目的考慮のこともあり、今後、検討しなければならない課題だと考えている。

以上